

令和7年度家畜保健衛生総合検討会開催要領

1 目 的

北海道では、令和6年度に家きんにおける高病原性鳥インフルエンザが2事例発生し、さらに今年度、馬インフルエンザも発生している。また、国内では豚熱の継続的な発生や、福岡県で国内初となるランピースキン病の発生などが報告されている。さらに、近隣諸国では口蹄疫やアフリカ豚熱といった越境性動物疾病が依然として発生しており、道外からの家畜の移動に伴い、これらの病原体が北海道に持ち込まれるリスクが高まっている。加えて、近年、訪日外国人観光客や海外からの研修生が急増しており、人や物の移動に起因する病原体の持ち込みリスクも依然として高い状況が続いている。

このような背景から、近年の越境性動物疾病の最新知見や、国内で確認されたランピースキン病の防疫措置、さらに輸移入に伴う家畜衛生上のリスクや課題、必要な知識について理解を深め、課題の検討を行うことが、北海道における防疫体制の強化につながるため、検討会を開催する。

また、家畜衛生に関する企画推進、調査、検査、試験等の家畜保健衛生所の日頃の成果を取りまとめた業績について発表及び討議を行い、北海道の家畜衛生の向上に資することを目的に、家畜保健衛生業績発表会を開催する。

2 主 催 北海道

3 開催期日 令和7年10月8日（水）13時30分～16時40分
令和7年10月9日（木）9時20分～16時30分

4 開催場所 札幌市男女共同参画センター 3階ホール
札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ内

5 開催内容

(1) 検討会（第1日目）

テーマ『北海道への侵入が危惧される越境性動物疾病について』

ア 講演会

講演1：越境性動物疾病の最新知見(口蹄疫、アフリカ豚熱、ランピースキン病など) (60分)

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門

越境性家畜感染症研究領域長 深井克彦 氏

講演2：福岡県にて発生したランピースキン病の対応と課題について (25分)

福岡県中央家畜保健衛生所

防疫課長 大山 慶 氏

講演3：動物検疫所における越境性動物疾病の水際対策について (35分)

農林水産省動物検疫所

所長 石川清康 氏

講演4：北海道における越境性動物疾病対策の取り組みについて (20分)

北海道農政部生産振興局畜産振興課

主査(防疫) 榊原伸一

全体質問： (20分)

(2) 第73回家畜保健衛生業績発表会（第2日目）

ア 発表内容

第1部：家畜保健衛生所の運営及び家畜保健衛生の企画推進に関する業務

第2部：家畜保健衛生所及び病性鑑定施設における家畜の保健衛生に関する試験
及び調査成績

イ 助言者グループの設置

助言、指導及び北海道・東北ブロック家畜保健衛生業績発表会（以下、ブロック発表会）における発表演題を選出するため、学識経験者等から構成される助言者グループを設置する。

助言者グループは、本道代表として、発表内容の優秀なものから1部2題以上、2部2題以上の計6題を選出する。

6 参集範囲

道内畜産関係者：家畜保健衛生所、振興局、市町村、農業協同組合、農業共済組合、畜産関係者等

令和7年度家畜保健衛生総合検討会

令和7年10月8日（水）・9日（木）
札幌市男女共同参画センター 3階ホール
（札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ内）

第1日目 10月8日（水）

日 時	行 事 内 容
13:00 ～ 13:30 (30分)	開 場・受 付
13:30 ～ 13:45 (15分)	開 会 ・主催者挨拶 ・来賓祝辞 検討会 「北海道への侵入が危惧される越境性動物疾病について」
13:45 ～ 14:45 (60分)	講演 1 「越境性動物疾病の最新知見(口蹄疫、アフリカ豚熱、ランピースキン病など)」 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門 越境性家畜感染症研究領域長 深井克彦 氏
14:45 ～ 15:10 (25分)	講演 2 「福岡県にて発生したランピースキン病の対応と課題について」 福岡県中央家畜保健衛生所 防疫課長 大山 慶 氏
15:10 ～ 15:25 (15分)	休憩
15:25 ～ 16:00 (35分)	講演 3 「動物検疫所における越境性動物疾病の水際対策について」 農林水産省動物検疫所 所長 石川清康 氏
16:00 ～ 16:20 (20分)	講演 4 「北海道における越境性動物疾病対策の取り組みについて」 北海道農政部生産振興局畜産振興課 主査（防疫） 榊原伸一
16:20 ～ 16:40 (20分)	全体質問
16:40	閉 会

第2日目 10月9日(木)

日 時	行 事 内 容
9:00 ~ 9:20 (20分)	開 場・受 付
9:20 ~ 9:30 (10分)	開 会
9:30 ~ 11:20 (110分)	第73回家畜保健衛生業績発表会 (午前発表) 1部8題
11:20 ~ 13:00 (100分)	昼 食
13:00 ~ 14:50 (110分)	第73回家畜保健衛生業績発表会 (午後発表) 2部8題
14:50 ~ 15:00 (10分)	休 憩
15:00 ~ 15:30 (30分)	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 農場研究本部 畜産試験場 研究発表 「冬季の哺育牛舎における安全性の高い除菌剤による煙霧消毒の効果」 畜試畜産研究部 家畜衛生グループ 研究主任 平野佑気 氏
15:30 ~ 16:00 (30分)	休 憩
16:00 ~ 16:30 (30分)	第73回家畜保健衛生業績発表会の講評及び審査結果の発表
16:30	閉 会

第73回家畜保健衛生業績発表会演題

第1部：家畜保健衛生所の運営及び家畜保健衛生の企画推進に関する業務

演題番号	タイトル	所属家保	発表者	座長
1	高病原性鳥インフルエンザが発生した管内一養鶏場における埋却地確保に係る取り組み	上川	竹花妙恵	石狩家保 吉田美葉
2	離島における鳥インフルエンザ防疫～ゼロからの構築～	宗谷	須藤志帆	
3	病性鑑定における遺伝子検査体制の充実とその効果	留萌	酒井悠輔	
4	管内A町における野生鳥獣によるヨーネ病伝播の実態調査と対策	十勝	互野佑香	網走家保 福田 寛
5	管内A町における牛のサルモネラ症対策～感染症の3原則に立ち返ったアプローチによる清浄化～	空知	上田春樹	
6	根室管内一酪農場における牛伝染性リンパ腫清浄化達成までの12年におよぶ取り組み	根室	佐竹麻子	
7	牛乳頭腫ウイルスの農場内伝播経路の検証とまん延防止対策の検討	網走	上野 拓	留萌家保 中菌将友
8	めん羊飼養農場で取り組んだ肝蛭症対策及び飼養管理	釧路	相川 文	

第2部：家畜保健衛生所及び病性鑑定施設における家畜の保健衛生に関する試験及び調査成績

演題番号	タイトル	所属家保	発表者	座長
9	2021～2025年に石狩管内で発生した <i>Salmonella</i> Typhimurium 感染による牛サルモネラ症の発生動向及び薬剤耐性の実態	石狩	中谷敦子	檜山家保 山田真喜子
10	LAMP法を用いたサルモネラ早期検出方法の検討	十勝	谷口有紀子	
11	2015～2024年に上川管内で分離された <i>Mannheimia</i> 属菌の性状解析	上川	稲垣華絵	
12	檜山管内で検出された牛伝染性リンパ腫ウイルスの発症月齢に関する一考察	檜山	佐々木碧子	宗谷家保 長尾 賢
13	豚パルボウイルスが関与した流産事例と疫学調査	網走	梶田桃代	
14	馬ヘルペスウイルス1型による異常産の検査法のアップデート	日高	都築孝一	
15	鶏アデノウイルスEによる鶏封入体肝炎発生	胆振	藤井誠一	上川家保 稲垣華絵
16	管内一酪農場において多発した <i>Histophilus somni</i> による膣炎を疑う事例について	後志	佃 拓磨	

業績発表会助言者グループ（審査員を兼ねる）

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 衛生管理研究領域 病理・生産病グループ 札幌研究拠点	領域長補佐	渡部 淳	氏
北海道大学大学院 獣医学研究院	教授	堀内基広	氏
酪農学園大学 獣医学群 獣医学類	教授	樋口豪紀	氏
帯広畜産大学 獣医学研究部門	教授	白藤浩明	氏
地方独立行政法人北海道立総合研究機構 農業研究本部 畜産試験場	場長	及川 学	氏
北海道農政生産振興局畜産振興課	家畜衛生担当課長	菅野 宏	
北海道石狩家畜保健衛生所	病性鑑定課長	吉田美葉	(審査のみ)

地方独立行政法人北海道立総合研究機構 農業研究本部 畜産試験場 研究発表

演題番号	タイトル	発表者	座長
1	冬季の哺育牛舎における安全性の高い除菌剤による煙霧消毒の効果	研究主任 平野佑気 氏	研究主幹 松井義貴 氏